



Minami-hatoba_1(Shirouyasu_Suzuki)

2006-09-30

ATP賞総務大臣賞作品の審査。

29日の朝、トイレで『美を脳から考える』は読まなかった。朝食後のトイレを出て外出の支度して、9時過ぎに家を出て地下鉄千代田線で日比谷下車、「東京會館」へ。11階パールルームでわたしの他4人（一人文書参加）の審査員による「ATP賞総務大臣賞」の審査。候補作品は7作品で受賞作はテレコムスタッフ制作NHKエデュケーショナル/NHKBSH放送の『あの夏 ～60年目の恋文～』に決まった。戦時中、小学校に教生で来た女の先生に淡い恋心を抱いた小学生が60年後、その先生が「昭和万葉集」を扱った番組に出ているのを偶然に見て、手紙の遣り取りをするようになり、当時の学校生活を甦らせていく、という内容の作品だった。その小学生というのがドキュメンタリー映画監督の岩佐寿弥さんだった。11時過ぎに審査が終わって、コース料理の食事をして解散。有楽町を歩いて、銀座の養青堂画廊に行って海老塚さんの版画展を見る。会場にいた海老塚さんとちょっと話す。それから一番安い作品を一点購入する。2時廻って銀座線で渋谷に出て、FoodShowのTAKANOで紅茶を買い、別の店でどら焼きと大福をかう。それから、東急本店の地下に行って惣菜と蜂蜜とハムと葡萄を買い、タクシーで帰宅。ちゅつと疲れて仮眠。[高く伸びた薔薇の木の花](#)を撮って、仕事場に行ってBlosxomblogに入れる。それから映像演劇学科の研究室から借りてきた大野一雄のDVDを見る。麻理と買ってきた惣菜と焼き魚とみそ汁で夕食。夕食の後、また仮眠。それから卒業生の熊澤さんのダンスをアピアに見に行こうと思っていたが、気分が優れないので風呂を沸かして入る。麻理がデッキでHDDからDVDへの録画がうまく行かないというので手伝ってみるがうまく行かない。どうもDVDの録画はややこしい。林檎、大福、どら焼き、煎餅、牛乳。仕事場に行って、mixiを見たりしてから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:35:28 - shirouyasu - No comments

Navigation

[Previous 月](#)
[Next 月](#)
[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Categories

[All](#)
[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』](#) [清水鱈造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年](#) [清水鱈造批評集 第二分冊](#)

Search

2006-09-29

多摩美「ドキュメンタリー映画論」で『風の積分』の一部を上映。

28日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、「情報美学」というタイトルで、芸術作品のシンボルのデータ化の問題が書いてあったが、よくわからなかった。ストレッチ体操はせず、朝顔の花を撮って仕事場に行き、ATPのDVD3枚の長い総務大臣賞候補作品の一枚を見て、麻理と蕎麦の昼食。食後、[朝撮った朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。それから総務大臣賞候補作品の2枚目を見る。『風の積分』を授業で見せるとき飛ばす部分に見当を着ける。4時過ぎに家を出て、地下鉄で表参道、二子玉で乗り換えて上野毛下車。珍しく電車で座れた。幸楽飯店で肉野菜炒めとライスを食べる。多摩美へ。酒井君に関口涼子さんの詩集『カシオペガ・ペカ』を貸す。6時からの「ドキュメンタリー映画論」で『風の積分』を上映。その後、講師控え室で「MacPower」と「美術手帖」を見て時間を過ごして、9時近く石田尚志さんと4年生の田邊聡美さんとナセヤへ行く。わたしはビールとジンジャーエールで、前菜を食べながら話す。わやしは、コンピュータが結ぶmixiなどの関係は現実とは位相を異にするデータ関係であること、またヒロイズムを語る作家は社会的にヒーローになるということ、blog日記を書き続けることはある意味で自分を消していく行為だということなどを話す。今夜は石田さんの鋭い指摘で話が動いた。11時頃ナセヤを出て、タクシーで新代田で石田さんを下ろして帰宅。林檎、ビスケット、煎餅、一口羊羹、牛乳。仕事場に行って、残る総務大臣賞候補作品のDVDを1枚見る。見終わったのが1時過ぎ、それからメールして、「灰皿町blog日記」を書く。

02:02:37 - shirouyasu - No comments

2006-09-28

多摩美生涯教育秋の講座「新しい詩の書き方を探そう」の一回目。

27日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、科学の革命的な発展というのも、データに対するパターン認知の切り替えといえるを書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。[散ったバラの花](#)を撮って、仕事場に行ってBlosxomblogに入れる。「新しい詩の書き方を探そう」で話をする内容のメモを取る。掛け蕎麦に豆腐を入れた豆腐蕎麦を麻理が作って、一緒に昼食。食後、仮眠。総務大臣賞候補作品をDVDで一本見てから、5時過ぎに出かけて、地下鉄で表参道、二子玉乗り換えで上野毛へ。「さくら庵」で親子丼。多摩美の生涯教育センターへ。7時から「新しい詩の書き方を探そう」の一回目の講義。書式でない書き方で書く言葉が詩というものではないかというようなことを話す。8時に終わって、講座に出ている酒井一有君とナセヤに行って、ビールでいろいろと話す。タクシーで帰宅。林檎、一口羊羹、煎餅、牛乳。夕刊を見る。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:02:13 - shirouyasu - No comments

2006-09-27

ATP賞・総務大臣賞候補作品を3本見る。

26日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、アリストテレスのいうところの事物の「本質」ということによって、カテゴリーに分けるわけで、「見る」というのは「見分ける」ということで、それはパターン認知で見るということになる、と書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。雨になり、[今朝咲いて雨に濡れるハイビスカスの花](#)を撮る。仕事場に行ってメールなど見る。麻理が天ぷら蕎麦を作って昼食。仮眠。コーヒーを淹れて飲む。テレビが安倍晋三首相の成立を伝える。「るしおる」に掲載する詩「こぼれたhitoってことで」の校正を見て、書肆山田の大家さんに電話する。「灰皿町blog日記」に昨日撮ったトンボの写真を入れて、Blosxomblogにハイビスカスの花を入れる。それからATP賞・総務大臣賞候補作品のDVDで一本見て、肉じゃがとみそ汁で麻理と夕食。大臣が決まるところのテレビ放送を見る。眠くなって仮眠。2時間ものの候補作品をDVDで見て、居間に行って林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。それからもう一本候補作品をDVDで見る。メールに返事したりしてから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:17:33 - shirouyasu - No comments

2006-09-26

25日に庭に来た赤とんぼ。

Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by





15:58:18 - shirouyasu - No comments

坪田義史監督の二つの作品のDVDを見る。

25日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、知覚は外界をストレートに反映するのではなく、能動的に選択しているという考え方の歴史が、カントからゲシュタルト心理学へ、更に現在に受け継がれているということが書いてあった。ストレッチ体操、シャワー、頭を洗う。バラの花と赤とんぼを撮る。[2日目のバラの花の姿](#)をBlosxomblogに入れる。素麺を茹でて昼食。食後、パルケに行って、洗剤など、またパン、白滝、肉、牛乳を買ってくる。仕事場に行って、昨日貰った坪田義史監督作品『サバイブ#2』と『官能少女作家』（秋月まりん主演）のDVDを見る。『サバイブ#2』は「女たちの最終形態」という副題がついていて、二つの作品が入っていた。一本は縛られるのを楽しんでいた若いママさんが、縛った女がたばこを買いに行って交通事故に遭って死んでしまった後、独力で縄を解いて帰るという話。これは坪田君の監督作品ではなかった。坪田監督の作品は、催眠療法を行う男に、女が催眠術を掛けられてみだらなことを思い、興奮したりするという「催眠ーヒプノシスー」という作品だった。最期に、女が催眠を掛ける男に鏡を見せて自身に催眠を掛けさせて逃げ出すというのには笑ってしまった。『官能少女作家』は、高校生の漫画作家が携帯で報告してくる友達のセックスをもとにセクシーな漫画を書いているが、やがてその友達の男からセックスの手ほどきをされて、自分の経験をもとに漫画を描くようになるという話。秋月まりんという女優のセクシーな姿を売り物にした作品だが、ギターを演奏したり、妄想めがねを持ってきたりする団塊の世代の編集者を配したりして、いろいろ工夫されていた。5時過ぎて、夕食の支度として、ご飯を炊き、肉じゃがを煮て、豆腐のみそ汁を作る。7時頃、一人で夕食。テレビニュースでは、自民党と民主党の三役が決まったということ。食後、ベッドで仮眠。9時過ぎ仕事場へ、坪田君にmixiでDVDの感想を送る。石田さんから借りたDVD「春の祭典」を見る。居間に行って林檎、薩摩芋、トウモロコシ、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く

00:56:29 - shirouyasu - No comments

2006-09-25

SPACE NEO「8ミリフィルム映画祭」で6つの作品をみる。

24日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、マレーヴィッチの考え方として、芸術家の創造性は自然の解釈によるものであり、その解釈は芸術家の脳の活性状況に寄って異なる、ということが紹介されていた。ストレッチ体操、シャワー。[今朝咲いた薔薇の花](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。mixiを見る。残っていたカレーを温めて、早めの昼食。12時半過ぎに家を出て、地下鉄千代田線で新御茶ノ水下車、SPACE NEOに行く。「8ミリフィルム映画祭」最終日。「山崎幹夫セ

レクシオン」と「鈴木志郎康セレクション」で山田勇男作品『青き零年』（1985）や寺島真里作品『幻花』（1990）を含む6作品を見た。わたしのセレクションとして、歌川恵子作品『みみのなかのみず』（1993）と坪田義史作品『ラジオライフ』（1998～99）が上映された。1時半から上映が始まり、プログラムごとに作者のトークが入って、終わったのは9時過ぎで、その後、クローゼットパーティがあった。作品はそれぞれ見応えがあった。手島さん、歌川さん、坪田君などと久しぶりに話が来て楽しいひとときを過ごせた。坪田君から彼が監督した『サバイブ#2』と『官能少女作家』のDVDを貰った。9時過ぎパーティの途中で佐々木さんに林檎を貰って退散。地下鉄で帰宅。帰宅して、寝室のベッドに横になってBSでNHK大河ドラマ「功名が辻」を見る。ニュースを見て居間へ。貰ってきた林檎、薩摩芋、角きんつば半分、牛乳。草多が見ていたDVD『白バラの祈り』の終わりのところを、思わず引き込まれ覗いて見てしまう。仕事場に行き、「灰皿町blog日記」を書く。

01:27:41 - shirouyasu - No comments

2006-09-24

忙しかった一日。

23日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、「美の情報処理」という章に入り、マレーヴィッチの「シュプレマチズム」のことが書いてあった。[薔薇の薔](#)をBlosxomblogに入れる。10時前に麻理と家を出て、代々木上原駅のホームでネムちゃんを連れた野々歩と落ち合い、新宿から総武線に乗り錦糸町で下りて錦糸公園を抜けて、天神橋を渡って、船橋屋で由梨とお母さんにおみやげのくず餅を買い、天神様をお参りしてから、普門院へ行ってお墓参りした。それから兄の家へ行く。ネムは兄夫婦から大歓迎。寿司をご馳走になって、わたしは一人先に辞去して、JR総武線と小田急で帰宅。シャワーで汗を流し、洋服を黒のものに着替えて、地下鉄で渋谷に出て、東横線で自由が丘乗り換えで大岡山へ行き下車して、東工大へ。「篠原一男先生を偲ぶ会」に出る。篠原一男先生はわたしの家を設計した人。スクリーンに映し出された先生の姿に悲しくなった。先生の最期を語られる娘さんの話を聞く。お弟子さんや編集者やクライアントの話を聞き、5時半近く終わって、わたしはその足で、東急で目黒に出て、JR山手で池袋に行く。6時に池袋に着き、珈琲茶房でコーヒーを注文したがなかなか来ないので飲まないで出る。そしてジュンク堂の『機——ともに震える言葉』をめぐるトークセッションに行く。久しぶりに関口涼子さんに会い、吉増剛造さんと言葉を交わす。トークセッションの後、トルコ料理屋に行き、ビールとワインとトルコ料理で歓談した。11時過ぎ、タクシーで帰宅。林檎、薩摩芋、角きんつば半分、煎餅、牛乳。仕事場に行って、メールとmixiを見て、「灰皿町blog日記」を書く。

01:42:09 - shirouyasu - No comments

2006-09-23

多摩美卒業生の波田野州平君の作品『Kへの画集』を見に行く。

22日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、視覚的な美とは、視覚神経系のシステムに適合したものと言えるのではないか、しかしそのシステムは学習するシステムなので、その学習によって異なってくる、ということが結論として書かれていた。ストレッチ体操、鈴木一民さんから電話があって、明日ジュンク堂で吉増さん関口さんのトークショウがあるということ。シャワー。メールを見てmixiを見る。一民さんがこの「灰皿町blog日記」の「9月1日」で『機——ともに震える言葉』に触れたところが見たいということで、プリントしてfaxで送ろうとしたが通じない。[今朝撮った朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。麻理が素麺を茹でて昼食。食後再びfaxしたが通じないので、電話すると、NTTのIP電話がパンクしているのが影響しているとこと。眠くなって仮眠。4時過ぎて家を出て、地下鉄千代田線の根津

で下車して、千駄木の「ギャラリーKingyo」に行く。地図の見方を間違えて池端の方に歩いて行ってしまふ。気がついて戻ったが路地の奥の分りにくいところだった。「art-Link ueno-yanaka 2006」の「Holiday」という、8つのプログラムで長短30作品が19日から29日までの間に毎日一回は上映される企画で、波田野州平君の作品『Kへの画集』はその一環として、今日は5時半から上映された。画廊の道路側のガラス戸が開けっ放しになったまま、すっかり暗くならない壁にビデオが映写され、折りたたみの椅子で見る。観客は、波田野君と多摩美卒業生の北さんとわたしの3人だった。画廊の片隅にはTシャツやDVDが売っていた。波田野君の作品は、他人とうまく話せない一人の男がヒッチハイクをして雪が積もった砂丘に行き、一人で歩いていると同じような男に巡り会う、というような話なのかな、という印象だった。山陰の厚い雲の下の広漠とした砂丘を歩く小さな男の姿は印象に残った。終わっても、作品について話すことが出来ない感じになって、わたしはさよならを言って画廊を出た。暗い路地を歩いて明るい池之端の通り出て根津から千代田線で帰宅。麻理がご飯を炊いて行ってくれたので、みそ汁を作って、先日買って冷凍してあった焼き魚で夕食。夕刊を見て、寝室のベッドで仮眠。ちょっと歩き回ったので脚が痛む。仕事場に行き、メールなど見る。居間で林檎、枝豆、一口羊羹、煎餅、牛乳。また仕事場へ、「灰皿町blog日記」を書く。

00:33:21 - shirouyasu - No comments

2006-09-22

映像演劇学科「ドキュメンタリー映画論」で『15日間』を上映。

21日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、大脳の視覚皮質には、V1, V2, V3, V4, V5というそれぞれ形、明暗、色彩、奥行き、運動を処理するニューロンがあって、相互に連携して判断処理しているという書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。日の光に光る朝顔の花を撮る。仕事場に行き、『15日間』のビデオを再生して、早回しで飛ばすところをカウンターで確かめる。そして、以前やったパフォーマンスで使った『15日間』で述べられていることを次々に否定するわたし自身のビデオを探し出した。麻理が素麺を茹でて昼食。食後、そのビデオの内容を確かめる。それから、[日に光る朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。眠くなって仮眠。4時過ぎに家を出て、地下鉄で表参道と二子玉で乗り換えて上野毛下車。さくら庵に行き、相撲の中継を見ながら雉焼き弁当を食べる。久しぶりにデリバリーボーイのかっちゃんとパソコンの話。多摩美へ。研究室で石田さんから『音楽ドキュメンタリー「春の祭典」』のDVDを借り、山崎さんから大野一雄その他のDVDを借りる。写真スタジオに展示されていた加納さんの衣装作品を見る。「みんなのうた、シュークリーム」の衣装があった。6時から「ドキュメンタリー映画論」で『15日間』を上映。やはり始めのところで学生達から笑い声が起こった。30分くらい中抜きして上映した後、パフォーマンスのことをちょっと話して、「15日間vs否定ビデオ」をちょっと見せる。こちらでも笑いが出る。研究室に戻って、助手の木村さんとちょっと話してから下校。大町線、田園都市線、半蔵門線、千代田線で帰宅。車内で前に座った女性をダンサーではないかと空想してみた。帰宅して、シャワー。それから林檎、トウモロコシ、カステラ、一口羊羹、牛乳。夕刊を見る。仕事場に行き、メールとmixiを見てから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:26:22 - shirouyasu - No comments

2006-09-21

多摩美芸術学科の一年生に「創造の現場」という講義をする。

20日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、視覚皮質へ伝えられた後の処理のことが書いてあったが、わたしにはその細胞の並び方など理解できなかった。ストレッチ体操、シャワー。[二つ咲いた野ぼたん](#)など庭の植物を撮り、

Blosxomblogに入れる。素麺を茹でて昼食。2時過ぎに家を出て、小田急で新宿へ。京王線の急行に乗り換えて橋本へ。そこからバスで多摩美へ。芸術学科の研究室の講師控え室で、西嶋教授と話をしてから、レクチャー棟の教室へ行って4時20分から授業。西嶋教授の紹介の後、助手の堅田さんの立ち会いで、配布したわたしの初期の頃の詩を例に、言葉のイメージについて、言葉が指示する物のイメージ、音韻のイメージ、言葉そのもののイメージなどが、若い頃からわたしにとってどのように問題になっていたかということ、また若い頃NHKに勤めていて、映像や言葉が粹にはめられるということがあるを知って、いわばそこで制度の存在にぶつかり、それを越えるときどきわくわくの生命観が表現にとって大切だというようなことを話して5時50分にぴったり終わった。研究室で西嶋さんにコーヒーを淹れて貰って飲み、タクシーを呼んで貰い、橋本へ。その駅ビルの「東京キッチン」という店で「下ろしハンバーグ定食」を食べた。橋本から新宿に戻る積もりで、京王線の急行に乗ったが、多摩センターに着いたら、小田急で行こうと思い直し、乗り換えて新百合ヶ丘へ。そこから小田急の急行で代々木上原へ直行した。家に着いたのは8時を過ぎていた。シャワーを浴びて、安倍晋三が自民党総裁になったと報じるNHKテレビを見ながら、夕刊を読んでいると、お祖母ちゃんのところに行った麻理が帰ってきた。仕事場に行ってメールを見たり、アマゾンで本を調べたり、そこに載っている書評を読んだりした。居間に行って、林檎、トウモロコシ、カステラ、煎餅、牛乳。また仕事場へ。「The Zouhai10000Pages」第3号を読む。そして「灰皿町blog日記」を書く。

00:04:26 - shirouyasu - No comments

2006-09-20

「海老塚耕一展」に行く。

19日の朝、朝食前に朝顔の花を撮る。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、網膜の受容器には、光の点灯で活性化するニューロンと光が消えると活性化するニューロンがあって、「オン・センター細胞」と「オフ・センター細胞」ということだ。その働きでコントラストがはっきりして、それが脳の皮質に送られると書いてあった。お風呂を沸かしておいて、ストレッチ体操してお風呂に入る。腰の痛みが和らぎ、身体が軽くなる。日が差した庭をminiDVで撮影する。仕事場に行って、多摩美の芸術学科に明日の講義の資料をメールで送る。それから、火を入れたカレーで昼食。自転車で漢方薬局に行って、コンドロイチン含有のサプリメント「SCPゴールド」を買って、パルケで蜜柑、レタス、パプリカ、パン、牛乳を買う。帰って家の外や庭の植物を魚眼レンズで撮る。今朝の朝顔の花をBlosxomblogに入れる。3時過ぎに出かけて、小田急で新宿へ、地下鉄丸ノ内線に乗り四谷3丁目で下車。「クリエイトフォト・タカ」に行って、10月にやる写真展の準備として、35ミリフィルムの現像とベタ焼きを頼む。「クリエイトフォト・タカ」の人たちとちょっと話をし、5時前にそこを出て、丸ノ内線で銀座に出る。並木通りの「養青堂画廊」で今日から開かれた「海老塚耕一展」へ行く。見に来た人たちの声が階段の下まで聞こえてにぎやかな会場だった。海老塚さんの銅版画が大小合わせて30点以上展示されていた。風と水と海老塚さんの思念が主題になっていて、それぞれがストーリーを暗示するような題名で楽しい雰囲気を感じられた。わたしは、mixiで海老塚さんの日記を読んでいるから、作者の日々から題名の言葉への飛躍を面白いと思った。会場で何人かの人に紹介された。また、今年の4月から芸術学科の大学院に進学した齊藤邦彦君とも会って、いろいろと話が出来た。11月に六本木の画廊で個展を開くと言っていた。7時頃退散、4丁目の「銀座あけぼの」で煎餅を買って、銀座線から表参道で千代田線に乗り換えて帰宅。帰宅して、サラダを作ってカレーで夕食。食べているところに麻理が帰ってきた。食後、アルツハイマーを主題にしたタケシの番組を見ている途中で、昼間買ったサプリメントをパルケのレジのところに置き忘れ来たのを思い出して、パルケに電話すると、取って置いてくれたので、早速自転車で取りに行った。帰ってメールを見てから、居間に行って林檎、パイ、角きんつば半分、買って来た煎餅、牛乳。また仕事場に行って、「灰皿

町blog日記」を書く。

00:05:17 - shirouyasu - No comments

2006-09-19

カレーを作って、のんびり過ごす。

18日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、視覚情報処理には階層があり、「入力刺激情報の変換は網膜で始まる」という。「光の強さの勾配を強調したり、コントラストを生み出したり、明るさの恒常性をはかる」といった処理が行われるということだ。ストレッチ体操、シャワー。[ヒメジョオンの花](#)を撮って、仕事場に行き、日録をノートしてから、Blosxomblogに入れる。既に1時過ぎて、蕎麦を茹でて、シラス下ろしを作って一人昼食。ベッドで仮眠。3時頃からカレーを作り始めて、米をといでご飯を炊き終わって5時頃。コーヒーを淹れて飲む。相撲中継を見る。台風13号の竜巻の被害をテレビで見る。九州で家の屋根が飛んだり、列車が横倒しになったりしている。仕事場に行き、シアターXの上田さんに招待の礼状として舞台を見た短い感想を書く。7時廻って、サラダを作ってカレーで夕食。食後、ベッドに横になって、失踪した母親をポーランド人の透視術の女性を使って探すというテレビ番組を見ながらうとうととする。仕事場に下りて、20日に多摩美の芸術学科で「創造の現場」という講義するための資料に、わたしの詩を数編選んでファイルを作る。詩集『罅製同棲又は陥穽への逃走』（1967）の「あとがき」の前に入れてある「極私的分析的覚え書 又は罅製同棲は本当に罅であるか 又は幻滅の予防」という、プアプア詩を書いた当時の文章を拾い読みする。そこに「人間の生命の焼燃が行われるためには絶対に物が必要なのだ。その物として、殆んど無尽蔵に存在しているかの錯覚を起させる言葉が私にはある。私が本を買うことといい、写真を撮ることといい、実はこの無尽蔵が関係しているらしい。そして更に私を詩に向わせるのはまさに言葉の無尽蔵そのものであるとさえいえよう。私はいのちのある限り言葉を書き続けたい」と書いてあった。また、「以前はいずれにしろ詩は作られていたといえる。しかし、今はもう私は詩を作っているのではない。私の生活のすべてを言葉にしてみせなくてはならない。そこには言葉の湧出以外にはテーマはないのだ。しかし、テーマそのものが言葉であるということは時間を拒んでくるので、私はたちまちのうちに絶句して、耐え切れない真空がそこに発生してしまう。それは本当に恐ろしい状態だ。私はここから逃げ出すために、プアプアとの交渉を時間的にした。つまり、殆んど現実的な行為のように言葉にしまった。そのために「プアプア」は人格をそなえてしまって、私の生命の完全な言語による露呈は失敗に帰したといえるだろう」とも書いてあった。居間に行き、林檎、薩摩芋、角きんつば半分、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:56:47 - shirouyasu - No comments

2006-09-18

「第7回シアターX国際舞台芸術祭」の『踊る妖精』を見る。

17日に朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、人間には視覚の錯覚がある、ということ網膜に映じた光を処理するシステムが脳にはあるということだと書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。[チェリーセージの花](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。今朝は朝顔の花は一つも咲かなかった。1時過ぎに家を出て、小田急で新宿乗り換えJR総武線の両国で下車。前から一度入ってみたい思っていた喫茶食堂に入って、焼きうどんとコーヒー。2時半ちょっと前にシアターXへ行って、入り口で5分ほど待ってから開場して入場。「第7回シアターX国際舞台芸術祭」の『踊る妖精 しもじくってかァ、、、黒塚伝説の姥（おんな）たち』を見る。アキコ・カンダ、ケイ タケイ、竹屋啓子、石黒節子、折田克子の創作ソロダンス。アキコ・カンダさんは1935年生まれ、折田克子さんは1937年生まれといった

年配のダンサー。鍛えた身体と気迫の踊りに驚かされた。更に、このダンサー達を「妖精」と言って踊らせたシアターXのプロデューサー上田美佐子さんの力にも改めて驚く。5時前に終わって、駅前のホテルの食堂でコーヒーを飲み一休みしてノートする。JR総武線で新宿下車。小田急の地下で焼き秋刀魚2本とその他焼き魚、それに松茸おこわを買って、タクシーで帰ろうとしたら、雨と日曜日が重なって長い列になかなか来ないので、小田急で帰宅。シャワー。麻理と秋刀魚とみそ汁で夕食。寝室のベッドに横になって、NHK大河ドラマ「功名が辻」とNスペ「ビッグ・ブルー しろながすくじら」を見て、仕事場に下りて、今日見た年配のダンサーの人たちの経歴などをWebで検索してみる。それから居間に行って、林檎、枝豆、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。また仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。

00:58:16 - shirouyasu - No comments

2006-09-17

SPACE NEO 「8ミリ映画祭」で『浅野優子万華鏡』を見る。

16日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、左脳に発作を起こしたフランスの画家の例が書かれていた。彼は右半身と言葉が駄目になって、左手を訓練して絵が描けるようになったという。9時前に[二つ咲いた朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。9時過ぎに家を出て、地下鉄表参道で降りて、青山学院大学の前を通過してイメージフォーラム付属研究所へ。金井さんと夏休み作品の講評。午前中4作品。午後萩原さんと4作品講評。3時半に終わって、タクシーで帰宅して、ひどい眠気に襲われて仮眠。4時半に目覚ましで起きて、また出かけて、地下鉄で新御茶ノ水下車。8ミリフィルム製造中止に反対する心を込めてのSPACE NEOの「8ミリ映画祭」へ行く。5時半から浅野優子さんの、1982年の『晴れ』から2004年の『もうひとつの花園』（三面マルチ上映）までの10作品の8ミリフィルムのアニメーションを見た。三面マルチ上映は、3つのスクリーンの前に二枚の沙幕を垂らしての上映なので、合計9つのイメージが重なったりして、生命の増殖を語る抽象的なイラストのアニメと相まって気分が盛り上がった。上映が終わった後、「8ミリ映画祭」オープニングパーティがあった。SPACE NEOのオーナーの佐々木さんの手料理とビールやお酒で話が弾んだ。9時過ぎてわたしは退散して、地下鉄で帰宅。シャワー。林檎、薩摩芋、草多の土産の餅菓子、煎餅、牛乳。夕刊。その後仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:02:34 - shirouyasu - No comments

2006-09-16

映像演劇学科清水邦夫ゼミ公演『楽屋』を見る。

15日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、知覚と大脳半球の関係が書いてあった。左の知覚は右の大脳半球に、右の知覚は左の大脳半球に行く。その例として右脳に障害が起こった画家が描いた自画像は左側が描かれていなかったという絵が図版で入っていた。ストレッチ体操、シャワー。[コスモスの花の群れ](#)を撮り、仕事場に行って、日録ノートしてから、Blosxomblogに入れる。それから、昨日映像演劇学科の研究室で借りてきたDVD、Matthew Bourne監督振付の『Swan Lake』を見る。全く知らないで見たのだが、『白鳥の湖』の白鳥が男性のダンサーという役に置き換えられたバレエで、ゲイの世界に仕立てられていたので驚いた。見終わって、麻理と蕎麦のちょっと遅い昼食。食後、クラシック・バレエの『白鳥の湖』について、また百科事典で改めて見る。愛の力の話のだからゲイの世界でも通じるわけだ。眠くなって、ベッドの横になって、テレビを点けたらオームの松本智津夫（麻原彰晃）の死刑が確定したというニュースをやっていた。それをちょっと見た後、うとうとしながら相撲の中継を見る。大関以降の取り組みでは目が覚める。大関横綱全部黒星。仕事場に行って、これも借りてきたRosasのコンテンポラリー・ダンス『FASE』の一つのダンスを見て、7時過ぎに家を出て、地下鉄で渋谷

に行き、地下の「蓬莱亭」でヒレカツ定食を食べ、文教堂に行ってバレエとダンス関係の本を3冊買う。それから、東横線の自由が丘乗り換えで大井町線上野毛下車。多摩美の講堂に行き、4年生の清水邦夫ゼミの公演『楽屋』を見る。主役を貰えなかった女優の幽霊達がチェホフの芝居のセリフを使って、自分たちのことをいろいろと話すという内容。講堂の舞台に客を入れて二分して、幕を下ろしてその裏の中央で、展開するという空間構成でよくできていた。10時半過ぎに終わって、田園都市線千代田線で帰宅。林檎、薩摩芋、草多の土産の餅菓子、牛乳。仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:05:22 - shirouyasu - No comments

2006-09-15

映像演劇学科「ドキュメンタリー映画論」の後期最初の授業。

14日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、知覚とニューロンの働きが分かってきたが、それが美の認識に結びつくところまでには分かっていないと書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。雨に打たれた朝顔を撮って、仕事場に行き、日録ノート。雨が止んだので、自転車で、対向してきた車すれすれに走って、パルケに行って、パン、レタス、パプリカ、ジャガイモ、薩摩芋、トウモロコシ、人参、茄子、牛肉、天ぷらなどなど沢山買って来る。麻理が蕎麦を茹でていて、天ぷらと蕎麦で昼食。仮眠。仕事場に降りて、[雨の朝顔](#)をBlosxomblogに入れる。その後、メールやmixiなど見る。「ドキュメンタリー映画論」のメモ。4時過ぎに家を出て地下鉄で表参道、二子玉乗り換えで上野毛下車。「さくら庵」で親子丼を食べながら相撲の中継を見る。多摩美上野毛キャンパスへ。研究室が会議中のために鍵が掛かっている入れない。「オアシス」という学生のたまり場で学生と話す。6時から「ドキュメンタリー映画論」の授業。試験答案の家族や友人など身近ところに映画の対象を求める傾向について、個人として愛情を元に表現を突き進めて欲しいという話をした。研究室で助手の山崎さんが借りてきてくれた図書館所蔵のバレエのDVDのリストを見る。DVDを二つ借りる。9時近く、石田尚志さんと星谷さんと下校。「ナセヤ」に行って、ビールで話をする。後から、古賀さん、大高さん、竹田君が来た。石田さんの遠近法についての詳しい話、また虹についての話が聞けた。11時過ぎて、タクシーで石田さんを新代田まで送って帰宅。林檎、草多の旅の土産の餅菓子、煎餅、牛乳。夕刊を見て、仕事場へ行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:43:03 - shirouyasu - No comments

2006-09-14

バレエについて百科事典やWikipediaなどで調べる。

13日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』は、「第5章視覚的な美と生理的制約」に入った。先ず始めのところで、ヒトの脳は、進化の第一原理である学習がその主要な機能となっていると書いてあった。ゆっくりとした進化と学習の加速、文明の進化は脳の力によるが、実は、知覚している世界は「物理的な世界ではなく、比較的わずかの感覚信号を用いて構成されたそのモデル世界であると考えられる」ということだ。ストレッチ体操、シャワー。[雨の中で散ってしまった野ポタンの花](#)を撮って、仕事場に行って日録をノートした後、Blosxomblogに入れる。それから、机のまわりに積み上げられた様々なチラシを片づける。麻理が素麺を茹でて昼食。その後、百科事典やWikipediaなどでバレエについて調べる。イタリアで生まれてフランスで育ち、ロシアで成人したクラシック・バレエと、ドイツとアメリカで起こったモダン・バレエ、そしてモダン・ダンス、とまあ、概略を言葉で辿って追った。バレエの音楽は聞いたことがあったが、バレエそのものについては今まで全く関心なかった。昨日DVDで見た『GISELLE』はロマン主義のバレエだったのかと分かって納得した。茄子カレーがちょっと酸っぱくなっていたと、麻理が火

に掛けたが、パソコンに気を取られて焦がしてしまった。それで、夕刊と相撲の中継を見た後、麻理は出かけて、わたしは電子レンジで温めてご飯に掛けて出来上がりの「海鮮てんぷら丼」と豆腐とわかめのみそ汁で夕食にした。食後、仕事場を下りて、以前買った「バレエレッスン」のDVDで、バレエの基本動作をじっくりと見た。訓練しなければ出来ない足の動きに名前が付いている。そこに身体の宇宙が生まれて来るといわけだろう。明日の多摩美の授業についてちょっとノートする。居間に行って、林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。また仕事場を下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:27:42 - shirouyasu - 2 comments

2006-09-13

茄子カレーの夕食の後、アマゾンで買ったDVD『GISELLE』を見る。

12日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ダンス集団の社会性のことが書いてあった。いったん作られた空間的時局的構造を個々の参加者が守らなければダンスの維持は出来ないし、集団的な維持が無ければ個々のダンサーのヴァリエーションはあり得ない、そこに社会性があると書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。野ボタンが咲いたのを撮って、Blosxomblogに入れる。「ドキュメンタリー論」の前期の試験の答案を読む。蕎麦を茹でて昼食。仮眠。コーヒーを淹れて飲む。その後、茄子とタマネギのカレーを煮始める。米をといでご飯を炊く。「ドキュメンタリー論」の前期の試験の答案を読む。小休止。大相撲中継を見ながら夕刊を見る。相撲さんは旧ソ連勢が力を発揮する。「ドキュメンタリー論」の前期の試験の答案を読み終える。「ドキュメンタリーを作るとしたらどんな作品を作るか」という問いに対する答。尊敬する祖父、あるいは父を対象にするというのが幾つかあって、それが印象に残った。茄子カレーで夕食。最後にヨーグルトをちょっと入れて煮たので美味しくなった。NHKテレビでテロが「アルカイダ現象、あるいはアルカイダ運動」になって、反米意識が広がっているという、一方ブッシュ大統領はテロに対する闘いを続けると演説していた。ちょっと仮眠。仕事場に行って、アマゾンから届いたTetsuya KumakawaとViviana DuranteのDVD『GISELLE』を見た。お話が感情を生み、身体の動きが視覚を奪う、というイメージだった。居間に行って林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。テレビでは筑紫哲也が民主党党首になった小沢一郎にインタビューしていた。安倍晋三の「美しい国」に対して、小沢一郎は「普通の国」を提唱ということ。「美しい」は心が引かれるけど危ない、「普通」はださいけど安心、ということか。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:48:32 - shirouyasu - No comments

2006-09-12

ザ・スズナリでパパ・タラフマラ公演『僕の青空』を見る。

11日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ダンスの表現過程である空間的時局的構造の「創造、維持、ヴァリエーションの展開、崩壊」がダンス以外の芸術にも「美的行動」ということとして言える、と書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。日録ノート。自転車で漢方薬局に行ってブルーベリーのサプリメントを買い、パルケに行って林檎、茄子、枝豆、トウモロコシ、ドレッシング、牛乳、蕎麦、かき揚げと野菜の天ぷらなどを買って帰る。

昨日撮ったマスタレの花をBlosxomblogに入れる。麻理と冷や麦の昼食。食後、仮眠。コーヒーを淹れて飲む。仕事場に行って多摩美の授業の「ドキュメンタリー論」の前期の試験の答案を読む。5時半に麻理が焼き茄子を作って、早めの夕食。6時半近く家を出て代々木上原から小田急で下北沢下車。「ザ・スズナリ」に行くと、多摩美の学生の持田さんと石原さんが手振って迎えてくれた。7時過ぎに彼女らと列んで座る。と、そこに北川さんと小玉君が来て前の席に座った。そして多摩

美卒業生の中林さん、藤谷さんとも会った。木元君が遠くの方にいた。小指値の山崎君が研究生になって客席整理をしていた。7時40分廻って、小池博史作・演出・美術・出演、松島誠、池野拓也、菊池理恵出演の『僕の青空』が始まった。小池博史が歌い、踊り、他の3人も踊り演技するという舞台だった。6つのパートからなる、「絶望の日の空はきまって青い」という言葉が添えられた人生的な旅をするという内容のようだったが、ストーリーは余りはっきりしないが、始めから終わりまで70分間、4人は出ずっぱりで踊り演技し続ける。その圧倒的な力は感じたが、内容として語られているところは余りピント来なかった。9時頃終わって、北川さんと小玉君と一緒にイタメシ屋でビールとピザとスパゲッティ。彼らと久しぶりに話をした。11時に店を出て、わたしはタクシーで帰宅。帰宅して林檎、枝豆、トウモロコシ、牛乳。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:10:07 - shirouyasu - No comments

2006-09-11

「第7回シアターX国際舞台芸術祭」の『フリーダ・カーロ』と『ジョウドウテキフクゴウタイ』を見る。

10日の朝、朝顔の写真を撮っていると、清水邦夫さんからわたしが出した「残暑見舞い」への返事の電話があった。清水さんとは数ヶ月ぶりに言葉を交わした。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ダンスの時間空間構造では、一つの構造が生まれ、それが維持された上で初めてヴァリエーションということが生きてくると書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。仕事場へ。日録ノート。[固まって咲いた朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。新聞の書評で見た本をamazonで注文。舞踏教育研究会編『舞踏学講義』を読み始める。麻理とざる蕎麦。

「Zouhai_10000pages」の2号を拾い読みする。それから、『舞踏学講義』の続き。4時頃家を出て小田急で新宿へ。「ビックカメラ」で電気カミソリの刃を買い、メモリースティックを買う。レジに行列が出来る程混んでいた。5時8分のJR総武線で両国へ。そば屋でざる蕎麦を注文してなかなか来ない。その間に、大相撲初日の二つの取り組みを見る。転がる魁皇。崩れる把瑠都。6時10分前に15分掛けて出て来たざる蕎麦を5分で食べて、シアターXへ。まだ入場できないで列んでいた。上田さんがわたしがいつも座る席を取ってくれた。志賀信夫さんと会って、先日田中浜が井の頭公園で踊ったと教えてくれた。先ず、佐々木満振付、ジェニファー・ブローズ舞踏の『フリーダ・カーロ』。トロッキーと恋愛したといわれるメキシコの女性画家の生きている姿が彷彿するようなダンスだった。途中、3人の男性ダンサー達が「インターナショナル」を歌うシーンがあって、懐かしいような頬笑ましい気分になった。休憩の後、作：すまこ・こせき、出演：すまこ・こせきその他、舞踊『ジョウドウテキフクゴウタイ』。人間の情動の構造をダンスに置き換えたというような作品で、迫力のあるところもあったが、わたしは途中ちょっと眠くなった。8時過ぎに終わって、JRと小田急で帰宅。シャワーを浴びてから、林檎と薩摩芋とトウモロコシを食べて、牛乳を飲む。それから、NHK大河ドラマ「功名が辻」をBSで見た。仕事場に下りて、「フリーダ・カーロ」をWebで調べる。シアターXの舞台を思い浮かべて、なるほどと思い当たるところがある。それから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:31:37 - shirouyasu - 3 comments

2006-09-10

乗越たかお著『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読み終える。

9日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ダンスの空間時間構造のヴァリエーションの展開のことが書いてあった。例として、アフリカの踊りの、前から後ろへと列んで踊っている少女のグループの、一番最後の子が突然走り出して、一番前に来て踊りを続けると、それぞれの位置がずれることになり、それを

ヴァリエーションというらしい。ストレッチ体操、シャワー。昨日買ってきたコスモスの花を撮る。仕事場に行って日録をノートしてから、メールを見る。

「Margaret Mead Film and Video Festival」から上映作品のリストがメールが来ていて、わたしの作品名は無かった。応募手続きを手伝ってくれた松山由維子さんにそのメールを転送する。木村和代さんに「詩について」のメールの返事を書く。その後、[コスモスの花](#)をBlosxomblogに入れる。蕎麦を茹でてざる蕎麦で昼食。寝室で仮眠。それから、コーヒーを淹れて飲む。仕事場に行って、来週から始まる「ドキュメンタリー映画論」の後期の授業の進め方を考える。5時頃、イメージフォーラムの澤さんのところに、明日3時半から上映される『15日間』のフィルムをタクシーで持って行く。オフィスデポで封筒を買って、渋谷の駅前から歩いて、Bunkamuraチケットセンターへ行き、「シアターコクーン」で11月に上演される清水邦夫作蜷川幸雄演出の「タンゴ・冬の終わりに」の切符を買おうとしたら、今日発売日というのに全部売り切れといわれた。その足で地下へ行ってオリーブの缶詰とレタスとトマトとハムと、夕食の惣菜としてヒレカツを買って、タクシーで帰宅。タクシー代900円。しらすおろしの大根を擦って、残り的大根を実にしたみそ汁を作って、一人で夕食。寝室に行き、テレビでプロ野球中継ヤクルト対巨人を見ながらとうとう仮眠。9時前に仕事場に行って、乗越たかお著『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読了。コンテンポラリー・ダンスというものの広がりがおおよそ分かった。と同時に、わたし自身がコンテンポラリー・ダンスというものについて何も知らないことも分かった。この自分の無知は、他のことについての無知の広がりを見透かされて気持ちいい。居間に行き、林檎とトウモロコシと栗7個食べ、牛乳を飲む。また仕事場に戻って、メールを見てから「灰皿町blog日記」を書く。

01:06:22 - shirouyasu - No comments

2006-09-09

シアターXで演劇舞踏『へいせいの田楽—平家女護島—をかぶく』を見る。

8日の朝、トイレで読んで『美を脳から考える』には、空間—時間構造の維持について、学生にダンスをやらせて観察したことが書いてあった。テンポの変化で空間構造は一時カオス状態になるが、また構造が復活して維持されるということだ。ストレッチ体操、シャワー。仕事場に行って日録ノート。小雨が止んだので、自転車で行って銀行に行って現金を下ろす。パルクで葡萄や栗など買って帰る途中、花屋でコスモスを買う。帰って、コスモスをプランターに植え替える。汗びっしょりになりもう一度シャワー。mixiを見て、[季節外れに咲いたシクラメンの花](#)をBlosxomblogに入れる。麻理が蕎麦を茹でて昼食。それから『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読む。5時前に、コーヒーを淹れて、トウモロコシと枝豆を食べながら夕刊を見る。5時過ぎて家を出て、小田急で新宿に出てJRに乗り換えて両国へ。駅前のレストランでビーフカレーとコーヒー。6時半にシアターXへ行き、原作・近松門左衛門、演出・台本西田敬一 演劇舞踏「へいせいの田楽『平家女護島』をかぶく」を見る。メインのかなり年配のダンサー達を若いダンサー達が盛り上げるという舞台だった。埴輪琴の女の弾き語りで始まり、平安時代の衣装の場面から、シーンによっては現代人の衣装がかじり合うという仕方で、舞踏劇がプロローグ、エピローグ付きの4部構成で展開する。大根を掲げて踊る「大根踊り」の群舞や、年配の男のダンサーが若い女のダンサーを踏み殺すシーンなど、またダンスを盛り上げるパーカッションも迫力があつた。パンフレットの筋書きを読んでも話はよく分からなかった。8時半には終わって、JRで新宿で小田急に乗り換えて帰宅。駅から家まで歩いて汗をかいてシャワー。林檎を食べて、薩摩芋を蒸かし、栗を茹でる。仕事場で、昔、戦争中に疎開した埼玉県の越生近辺の川角辺りの地図をWebで見る。居間に行き、薩摩芋と今年初めての栗を食べ、牛乳を飲む。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:34:43 - shirouyasu - No comments

2006-09-08

『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読む。

7日の朝、起床して萎んだ木槿の花を撮った。朝刊を見ながら朝食。朝食はいつもの通り、牛乳入り紅茶、レタス、トマト、パプリカ、オリーブのサラダ、それにライ麦パン一枚にハムを乗せて食べる。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、空間一時間構造の維持のことが書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。文房具店、郵便局、パルケに行き買い物してくる。Aさんにお祝いを贈る手紙を書く。『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読む。日本のダンサーは大野一雄さんから書かれている。大野さんは十年ぐらい前か、土方さん、笠井叡さんなどは、三十年以上前に見た記憶がある。この本に書かれているそれ以降のダンサーたちは見たことがない。この乗越たかおさんの本を読むと、気持ちがそそられて見たい気持ちになってくる。買って来た野菜天ぷらで、麻理と天ざるの昼食。食後仮眠。コーヒー。『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読み続ける。Blosxomblogに[萎んだ木槿の花](#)を入れる。トウモロコシを食べながら夕刊を見る。仕事場に行き、読書を続ける。パルケで買って来た刺身とみそ汁で夕食。仕事場に戻って、四日分の日録を書く。寝室のベッドに横になってNHK時代劇を見る。仕事場に行き、『ドキュメンタリー映画は語る—作家インタビューの軌跡』のわたしの部分の校正をして、速達でポストに投函しに行く。戻って、林檎、枝豆、トウモロコシ、煎餅、牛乳。また、仕事場に行き「灰皿町blog日記」を書く。

00:37:58 - shirouyasu - No comments

2006-09-07

「月刊現代」と『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読む。

6日の朝、雨の中、朝顔が七つも花を咲かせた。その一つを撮る。朝食を食べ終わる頃に、昨日会った井上さんと二宮君が近くに引越してきた挨拶と言って、お菓子とお茶を持って来たが、まだ気分が整ってないので、玄関で挨拶して帰って貰った。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ブッシュマンのコー族の羚羊ダンスの時間的構造としてのテンポが生まれるまでのことが記述されていた。少女達がばらばらに踊り始めて、跳躍が揃うまでフィルム600コマ以上掛かっていると書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。[朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れてから、仕事場で、昨日買った「月刊現代」掲載の立花隆「安倍晋三『改憲政権』への宣戦布告」と辺見庸「無恥と忘却の国に生きるということ」を読んだ。二人とも戦後民主主義を否定する安倍晋三と対決すると書いていた。蕎麦を茹でて、残りのカボチャの煮付けとで、麻理と昼食。食後仮眠、うとうとしながら「はぐれ刑事純情派」を見る。それから、コーヒーを淹れて飲む。仕事場に行き、『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読み、「世界のダンサー&ダンスカンパニー」という章を読み終える。その名前は数多くてとても覚えきれないが、どんなダンスを踊っているかということが具体的に「ジュリエットは白い胸に不釣り合いな乳首が強調された衣装だ。ロメオはボロを着ており、初来日時はハゲだった」というように書いてあるので面白い。7時過ぎて、麻理が作って行った肉とニラともやしの炒め物とみそ汁で一人で、天皇家に41年ぶりに男子出産のテレビニュースを見ながら夕食。仕事場に行き探し物。それから寝室のベッドに横になって、サッカー日本対イエメン戦を見る。終了間際日本が点を入れて、1対0で勝つ。居間に行き林檎、薩摩芋、井上さんから貰ったケーキ、一口羊羹、牛乳。また仕事場に行き、「灰皿町blog日記」を書く。

00:45:38 - shirouyasu - No comments

2006-09-06

木村和代さんと二子玉の「Teppan 200°C」で懇談する。

5日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ブッシュマンのコー族の羚羊ダンスの始まりのところがフィルムの駒から読み取って記述してあった。自転車で小林医院に行く。井の頭通りの交叉点で、近くに引っ越してきたという多摩美の卒業生の井上弥那子さんと二宮正樹君にばったり会う。小林医院で血圧など診断して貰い常用の薬の処方箋を貰う。豊屋を一軒置いた慶応堂薬局に処方頼み、文教堂に行き、「月刊現代」と「渾身のレポ・Leopard・MacProのMacFan」と「DANCE MAGAZINE」を買う。「DANCE MAGAZINE」は好奇心から初めて買った。文房具店でDVD用の封筒を買い、薬を買ってパルケに行く。枝豆とトマトとパンを買って帰る。買って来た雑誌をぱらぱらと見た後、[ムクゲの花](#)をBlosxomblogに入れる。それから、納豆で昼食。寝室に行き1時間ほど仮眠。コーヒーを淹れて飲む。暫くぼんやり過ごす。仕事場に行き、乗越たかお著『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読む。次々に外国人の舞踏家の名前が出て来て、それぞれ変わったダンスをやっているようだ。居間に行き、枝豆を食べながら夕刊を見る。6時過ぎて家を出て、地下鉄で表参道で乗り換えて二子玉へ。改札で木村和代さんと落ち合って、彼女の案内で「Teppan 200°C」という鉄板焼きの店に行き、ワインを飲み、鉄板焼きのエビとか牛肉とかを食べながら懇談する。10時頃その店を出て、木村さんを桜新町までタクシーで送って帰宅。ちょっと仮眠。林檎、薩摩芋、枝豆、一口羊羹、牛乳。仕事場に下りて、メールとmixiを見てから「灰皿町blog日記」を書く。

01:18:39 - shirouyasu - No comments

2006-09-05

東急セミナーBE澁谷の「現代詩の広場」で詩の講評。

4日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ダンスは空間的-時間的構造(S-TS)として捉えることができ、それは「S-TSの創造」「S-TSの維持」「S-TSのバリエーション」という展開で捉えられると書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。[庭に咲いたタマスダレ](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。林浩平さんにDVDを同封した手紙を書き、福岡に画廊を開いたという大島洋さんの手紙に返事を書く。蕎麦を茹でて昼食。ベッドに横になって仮眠。3時頃コーヒーを飲み、ちょっとぼんやりした時間を過ごし、志賀信夫さんのメールにシアターXの公演についての感想を書き送る。5時半頃家を出て、地下鉄で渋谷に行き、「さくらや」でフラッシュメモリーを買って、「松川」で鰻重を食べる。それから、「Book1st」へ行き身体論関係の本を2冊買う。「東急セミナーBE」へ行く。7時から「現代詩の広場」で詩の講評。9時に終わって、沢木さん、白鳥さん、川口さんとビールを飲みに行き、南米に行ってきたという沢木さんからコーヒーのおみやげを貰う。11時近くまで話して、タクシーで帰宅。林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。仕事場に下りて、多摩美の加納さんのメールに返事。イメージフォーラムの澤さんにもメールして、「灰皿町blog日記」を書く。

01:39:42 - shirouyasu - No comments

2006-09-04

魚眼レンズで「近所」を撮る。

3日の朝は6時半頃目を覚ましたが、また眠ってしまい目が覚めたら、10時半を廻っていた。起床して朝顔の花を撮る。昼近い朝食、朝刊。トイレで読んだ『美を脳から考える』の昨日のところは、ダンスする場ということが書いてあったのだった。今日読んだところには、時間的構造ということで、それはダンスではテンポなのだが、外側からの音楽のテンポではなく、ダンサー達自身が自分で取るテンポを外側からみていてどのように捉えるかということが問題になっていて、音楽なしで踊っているダンスのフィルムから捉えることにすると書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。昨日麻理が買って来たカボチャを缶詰の黒豆と煮る。トウモロコシ

を茹でる。林浩平さんに送ると約束したので、『極私的に遂に古稀』をテープからDVDにダビング。煮えたカボチャで遅い昼食。コーヒーを淹れて飲む。Blosxomblogに[秋の日を受けた朝顔](#)を入れる。魚眼レンズ付きのカメラを持って撮影散歩に出かける。この前、撮ろうと思ったスレートの壁の家を目指して歩き始めるが、近所の草の生えた駐車場に古いフォルクスワーゲンが停めてあったので、それを撮ったら、次々に家のスナップが撮りたくなって、撮り歩く。スレートの壁の家も撮って、工事中で変わってしまった東北沢の駅付近も撮って、一回りして帰る。汗をかいて、風呂沸かして入る。風呂桶を洗う。風呂から出たところに麻理が帰ってきて、買って来た惣菜のヒレカツとサラダとカボチャの煮付けと茄子のみそ汁で夕食。食後、寝室のベッドに横になってNHK大河ドラマ「功名が辻」を見る。仕事場に下りて、今日創刊号発行のWebマガジン「The Zouhai_10000pages」の半分を読む。mixiを見る。マリリンさんがわたしの詩集の表紙の写真を入れた日記を書いているのでコメントする。ダビングしたDVDにラベルを貼る。日録を書いて、居間に行って林檎、トウモロコシ、角きんつば半分、チョコレートビスケット2枚、牛乳。仕事場に下りて「灰皿町blog日記」を書く。

00:42:59 - shirouyasu - No comments

2006-09-03

「第7回シアターX国際舞台芸術祭」の一つの演劇と一つのダンスを見る。

9月2日の朝、先ず朝顔の花を撮る。朝刊を読みながらの朝食の後、トイレで読んだ『美を脳から考える』に書いてあったことは、頭に残っていない。トイレから仕事場に行って、夕べ書かなかった「灰皿町blog日記」を書いて、Blosxomblogに[根本に近いところに咲いた朝顔の花](#)を入れてから、ストレッチ体操、シャワー。麻理が茹でた素麺で、早めの昼食。麻理は出かけ、わたしは仮眠。仕事場へ、mixiを見る。舞踏批評家の志賀信夫さんがわたしのblogの「ダンスがみたい8」の記事を彼のメーリングリスト「[マルドロール](#)」で紹介してくれた、そのメールが来た。乗越たかお著『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読む。5時過ぎに家を出て、小田急で新宿へ、JR総武線に乗り換えて両国下車。「むさしや」というトンカツ屋でヒレカツ定食を食べて、シアターXへ。招待して貰った「第7回シアターX国際舞台芸術祭」の「く☆す芝居・演劇『この道はいつか来た道』」と「ミチコ・ヤノモダンバレエカンパニー・舞踏『命の交叉点』」を見る。始まる前にロビーで、国文学者の林浩平さんに会って何年かぶりに言葉を交わす。シアターXの上田さんに挨拶。片倉良演出、鈴木みえこ、片倉良出演の別役実作『この道はいつか来た道』は、ホスピスを脱出した病んだ老女と老人が、路上で愛を確認して結婚するという話を何度も繰り返した末に、とうとう凍死する時を迎えるという一幕もののペーソス溢れる芝居。演じている人たちは松山在の人たちということだ。舞踏『命の交叉点』は、「Part1酒池肉林 欲望の虜となりて、Part2警告 繁栄か？滅亡か？、Part3帰途案内 靈魂の故郷へ」とタイトルの付いた三つのシーンと、蛙のプロローグとエピローグがある構成だった。各シーンは1、2名の人間と複数の靈魂が登場して踊るというものだった。「Part1酒池肉林」では、若い男女のカップルに靈が割り込んで男と抱き合うとか、「Part2警告」では、音響と照明で爆弾が炸裂し倒れるとか、自動小銃で打ちまくるマイムにばたばたと倒れるとか、分かりやすくした演出・振付なのだろうか、わたしには、こういうのもあるのだ、という印象だった。終わって、劇場を出ると志賀信夫さんが携帯をかけていたので、志賀さんはわたしのことを知らないから、わたしから名乗って自己紹介した。JR総武線で新宿から小田急に乗り換えて帰宅。シャワー。夕刊を見ながら林檎、枝豆、トウモロコシ、牛乳。それから仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:35:50 - shirouyasu - No comments

2006-09-02

久しぶりに海老塚耕一さんと飲んで懇談した。

9月1日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ダンスの刹那的に変化する時間的空間的構造を捉える方法には二つあって、フィルムフレームで捉える方法と、転写法があり、転写法は人を上から見て線に還元した図形、台形の長編を上にした形を「交流セグメント」として記述する方法で、舞台上でこの形が向き合っているか列んでいるかで、ダンスの形を見ていくということだ。ストレッチ体操、シャワー。[朝顔の黄ばんだ葉](#)を撮って、仕事場に行ってBlosxomblogに入れる。『機——ともに震える言葉』を読み終える。往復書簡の形を取ったこの本は、全体に関口涼子さんが問題提起して、吉増剛造さんが自分の記憶と直感で浮かび上がった言葉を辿ることで、その問題の奥行きと広がりを作って行く形で進んで行く。扱われている問題は、詩の作品としての「出口」、関口さんが吉増さんの詩集を翻訳するに当たって問題となった「固有名詞」と「擬音・擬態語」のことなどが、表現として言語を使う場合の、その言葉が生成する局面で語られる。それが、関口さんの翻訳の仕事と自分のフランスでの二カ国語にまたがる創作活動に重ねて語られるので、言葉の共同作業のあり方というところに開かれて行っている。詩を書くときの、言葉の発生を言葉で語っているのがスリリングだった。素麺を茹でて麻理と昼食。麻理は急いで出かける。仮眠。3時頃、コーヒーを淹れて飲む。仕事場に行って、乗越たかお著『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』を読み始める。5時頃家を出て、地下鉄で表参道で半蔵門線に乗り、一月半ぶりに二子玉乗り換えで上野毛下車。多摩美の「生涯学習センター」に行き、四月以来会って無かった海老塚耕一さんと落ち合う。打ち合わせをちょっとして、上野毛駅近くの「宇田川」に行き、ビール、焼酎を飲みながら懇談する。8時過ぎに、渡辺さん、木村さんも加わって、12時頃まで話して、その後渡辺さんが帰って、三人で駅前の「やるき茶屋」へ行き、2時頃まで飲んだり話したりした。タクシーで木村さんを桜新町まで送って帰宅。林檎、枝豆、牛乳。「灰皿町blog日記」は書かないで寝た。

11:08:06 - shirouyasu - No comments

2006-09-01

六本木「**SuperDeluxe**」で奥山さんかわなかさんのフィルムライブショウを見る。

31日の朝、起床して朝顔の花を撮る。葉が黄色味がかってきている。朝食、朝刊。そしてトイレで読んだ『美を脳から考える』には、現象学的アプローチでダンサーが創造する時間と空間を捉え、比較行動学的アプローチでダンサーの考えと身体の動きの関連を捉える、と書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。八木忠栄さんから、先の現代詩人会で撮られたわたしの写真が1枚送られてきたので、返事を書き、それを持って自転車でパルケに行く途中で投函する。パルケに行き、昨日持って帰るのを忘れたパンを貰い、イチジク、トウモロコシ、枝豆、アスパラ、それと夕食用に秋刀魚を一本買う。井の頭通りまで来て、赤信号でとまったとき、米を買うのを忘れていたのに気がつき、パルケの別店舗に引き返して、一番高い魚沼産コシヒカリを買う。帰って、素麺を茹でて、しらす干しとで昼食。仮眠。うとうとしながら「はぐれ刑事純情派」を見てしまう。コーヒーを淹れて飲む。それから、米をとぐ手元をminiDVで撮影する。仕事場に行き、[朝撮った朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。『機——ともに震える言葉』を読む。夕刊を見た後、5時過ぎに、日本語学校から帰ってきた麻理と一緒に、秋刀魚を焼き、下ろして余った大根を実にしたみそ汁を作り、昨日のカボチャの煮付けなどと共に、早めの夕食。6時過ぎて家を出て、地下鉄で千代田線、半蔵門線、大江戸線で六本木へ。六本木ヒルズの前を通って地下の「SuperDeluxe」へ。多摩美の卒業生の山峰君と鈴木雅也君に挨拶される。富山さんと久しぶりに言葉を交わす。8時から「FILMUSICA - セッション奥山順市/永田一直/チェリーボーイ・ファンクション」と「つくられつつある映画 - SP盤セッション かわなかのぶひろ/中島崇/関根麗子/上原香林/川口義之/坂本弘道/L?K?O」を見る。奥山さんのセッションは、映写機のヘッドにフィルムを擦りつけてノイズを出して、それを電子楽器の音と交錯させるといった、一種

のノイズミュージック。今回のかわなかさんの「つくられつつある映画」は、壁に数台の映写機で様々な映像をマルチ映写して、それにSP盤のポピュラーミュージックと川口義之・坂本弘道・L?K?Oの火花が散ったり、皮膚が震えるような激しい生演奏を交互に流すというものだった。10時過ぎ終わって、金井勝さんをタクシーで渋谷駅まで送って帰宅。林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。その後、仕事場を下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:43:54 - shirouyasu - No comments